



タイの森のおはなし



2

タック..「そうだ！ みんなで焼きイモつくろうよー」

台詞..と、ホクホクに焼けたおイモを想像しながら、
タックが言いました。

でも、

A

■読みながら②ページをゆつくりとBまで引く

台詞..ブアカオはとつても慌てた様子です。

ブアカオ..「タック、シボラン、違うよ！ あれはっ……」

■②ページの残りを全部引いて、③ページへ

【上演するにあたって】

■物語の舞台は、タイ北部の森。乾期の設定。

■紙芝居に動きを出すために、ページを線まで引く指示を出してあるが（赤字部分）、ページを引かなくても物語はつながるようになってるので、引くタイミングがとれない場合は、引かなくてもよい。





3

みんな..「山火事だ〜!」

台詞..メラメラメラメラ!

ゴウゴウゴウゴウ!

台詞..と、燃え上がる炎を見て、動物たちは大パニックです。

みんな..「わーっ! 大変だあ〜!」

「だれか、来て〜!」

ワニル..「はっ、はやく火を消さないとっ!

水! 水はどこだ〜!」

台詞..ワニルが、赤い顔をさらに真っ赤にして水を探しています。

炎はどんどん広がっていきます。

台詞..そのときでした。

■ざっと③ページをめくる

■間をあける

■不安をおおるように。

【上演するにあたって】
■大きな声で。





ゾウママ..「みんなあ、大丈夫よお」

台詞.. のんびりと大きな体を揺らしながら、ゾウママが
やって来ました。

■【上演するにあたって】
ゆっくりとした口調で。

ワニル..「大丈夫なわけないだろうっ、ゾウママ、森が燃え
ちまうよー!」

台詞.. ワニールが大声で叫びました。

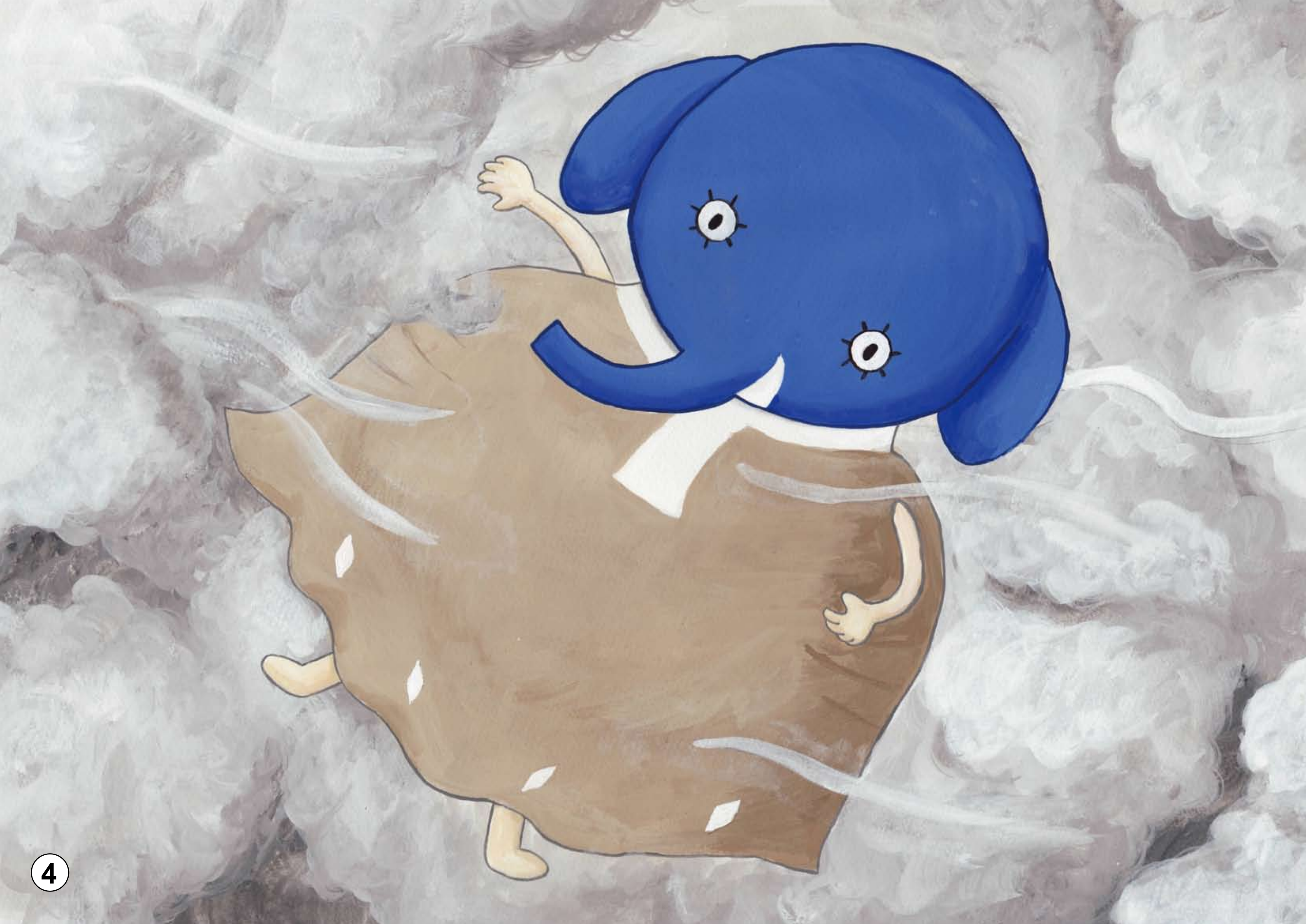
台詞.. でもゾウママはやっぱりのんびりした様子で、

ゾウママ..「私にまかせなさあーい」

台詞.. と言うと、ながーい鼻を空に向かって伸ばしまし
た。

■「ながーい鼻」を強調。

ゾウママ..「せーのっ!」





5

台詞..ぴゅっ！

台詞..ゾウママの鼻から、一気に水が噴き出します。

近くにあった川から、おなかいっぱい、水を蓄えてきたのでした。

台詞..火の勢いは、みるみる弱まっています。



みんな..「ゾウママ、すごい！」「すごーい」

台詞..パチパチパチと動物たちは拍手喝采です。
火が消えて一安心。

台詞..動物たちは、森を見渡せる丘の上で休憩することになりました。

ところが……。





タック..「あれ？ 何だか変だよ」

台詞.. タックが不思議そうに言いました。

タック..「どうしてこんなに木が少ないの？ これじゃあ、はげ山だよ！」

台詞..するとブアカオが、悲しそうな顔をしてつぶやきました。

ブアカオ..「これはね……『焼畑（やきはた）農業』というやり方のせいなんだ」

みんな..「焼畑（やきはた）農業！？」

台詞..みんなびっくりして、ブアカオのほうを見ました。





7



ブアカオ…「焼畑農業は、森の一部を燃やして、畑に変える農業のことなんだ。何年か作物をとると、土地が痩せてしまうから、また別の場所を燃やして畑にするんだよ」

台詞…それを聞いたワニールが、思わずブアカオの話をさえぎります。



ワニール…「オイオイ、そんなことしたら、森がなくなっちゃうぞっ！」

■一息間をおく



ブアカオ…「うん、ワニール。昔はね、燃やしたところが元に戻るのを待って、少しずつ焼畑をしていたんだ。でも今はそうじゃない。人間は、森の回復よりも畑を増やす方が大事なんだ。それに、焼畑の火が他に燃え移って、さつきみたいに山火事になることもあるんだよ」



みんな…「ひどい……」

台詞…動物たちが口をそろえて言いました。

■⑦ページを全部ゆつくりと引く

【上演するにあたって】
■少し難しい内容なので
ゆつくり丁寧に





台詞…ブアカオは、暗い顔で話を続けます。

ブアカオ…「木が減ってしまうと、森は、雨が降っても水を貯められなくなるんだ。そうすると、とっても恐ろしい災害、土砂崩れや洪水が起きることがあるんだよ。このままだと、僕のふるさとの森がなくなってしまうよ……」

■一息間をおく

台詞…動物たちは、ブアカオの話を聞いて、どうしたら良いのか考えます。

■⑧ページを

A

まで引いて、ワニールのセリフを読む



ワニール…「森を守るためには、焼畑農業を止めさせるしかないぞっ!」

台詞…ワニールが怒りながら言いました。

■⑧ページを

B

まで引いて、タックのセリフを読む



タック…「僕は、国や政治家に『森を守って』とお願いするのが良いと思うな。

だって、森はみんなのものでしょ?」

台詞…今度はタックが自分の考えを言いました。

■⑧ページを

まで引いて、シボランのセリフを読む

【上演するにあたって】

■「土砂崩れ」と「洪水」を強調しながら言う





台詞..最後にシボランが、むずかしい顔で言いました。

シボラン..「でも人間は、いつまでたっても森の大切さに気付かないかもしれないよ。ブアカオ、この森はあきらめて、早く他に引越した方がいいんじゃない?」

台詞..さあ……、

みなさんは動物たちの考えをどう思いましたか?

台詞..そして、

みなさんだったらどうすれば良いと思いますか?

■たくさんのお話をおく

台詞..一生懸命に考えていると、

■⑨ページをさつと引く

【上演するにあたって】

■話しかけるように。

■時間に余裕があれば、子どもたちに、感想や自分の考えを話してもらおう。





ゾウママ：「ホラッ、お腹空いたでしょ」

台詞：と、ゾウママがいろんな食べ物を持ってきました。

シボラン：「えっ！？　どーしたの、それ？！」

台詞：シボランが目をパチパチさせながら尋ねます。

ゾウママ：「もちろん、この森で収穫したの。ちよつと量は少ないけど、でも、森はまだ生きているわよお」

みんな：「ありがとう、ゾウママ！」

台詞：動物たちは、森でとれた果物や木の実、キノコを
おいしそうに食べました。

■たくさんの間をおく

ブアカオ：「やっぱり僕は、この森をもつと元気になりたいよ！」

台詞：ブアカオはそう言うと……、

■読みながら⑩ページをゆっくりと引く

【上演するにあたって】

■明るく元気に言う。





台詞…せつせと土を掘り、そこに、一本の木を植え始めました。

【上演するにあたって】



ブアカオ…「よいしょ、よいしょ、よいしょ。
心を込めて植えれば、きっと大きく育つはずだよ！」

■間をおく

台詞…そんなブアカオの姿を見て、動物たちは決めました。



みんな…「みんなで木を植えよう！」

■⑪ページをめくりながら



みんな…「植えよう！」「植えよう！」「木を植えよう！」「植えよう！」「植えよう！」「木を植えよう！」

■⑪ページをゆつくりと引く

■明るく元気に言う。



タイの森のおはなし



12

♣オイスカと「子供の森」計画

「子供の森」計画はオイスカが世界各地で推進している子どもたちの植林活動及び環境教育の支援プログラムです。1991 年より開始し、現在までに 33 の国と地域の 4,600 以上の学校が参加しています。オイスカは、国連経済社会理事会の諮問資格を持つ国際協力 NGO で、1961 年の設立以来、アジア太平洋地域の開発途上国を中心として農林業開発協力、環境保全活動、人材育成を推進しています。
<http://www.oisca.org>

♣動物かんきょう会議とは

世界のさまざまな地域から集まった動物たちが、身近な「かんきょう問題」をテーマに会議をくりひろげるお話です。子どもたちが「環境問題と異文化に興味をもち、自ら考え、行動する人間になってほしい」との願いをこめて 1997 年にはじまったプロジェクトです。2012 年には世界の 12 才同士が学び合う「せかい・動物かんきょう会議」がスタート。絵本とアニメーション（NHK 教育 TV で放映）があります。
<http://animalconference.com>

台詞…他の動物も呼んで、何だかとってもにぎやかです。

大変な作業だけど、楽しそうですね！



ブアカオ…「コップンクラブ！」

台詞…ブアカオが、木を植えてくれた動物たちにお礼を言いました。「コップンクラブ」は、タイ語で「ありがとう」という意味です。

■一息間をおく

台詞…たくさんの仲間と一緒にがんばれば、そして、森を愛する心を失わなければ、きっと豊かな森がよみがえるはずです。人間と動物が、いっしょに仲良く暮らせる森になりますように！

■一息間をおく

台詞…おしまい。

世界の森のおはなしシリーズ 「タイの森のおはなし」

2014 年 3 月 発行（第 1 版） 12 場面

脚本 井内雅倫
絵 宮知和代とマリルウ
企画・監修 公益財団法人オイスカ 「子供の森」計画
協力 タイの子どもたち
キャラクター ブアカオ／シボラン ©OISCA/NURUE
タック／ゾウママ／ワニール ©NURUE
制作協力 「動物かんきょう会議」プロジェクト
© 株式会社ヌールエ デザイン総合研究所

発行 公益財団法人オイスカ
〒168-0063 東京都杉並区和泉 2-17-5
TEL : 03-3322-5161（代表）
<http://www.oisca.org/>

男性 ขอบคุณ ครับ
コップン クラップ
(カップ)

女性 ขอบคุณ ค่ะ
コップンカー
＊「カー」は語尾を
下げながら発音すると良い

■タイ語で
「ありがとう」





タイの森のおはなし

作 公益財団法人オイスカ

1



ブアカオ…「サワツディークラブ！ 僕のふるさと、タイの森へようこそ！」

台詞… ニシキヘビのブアカオが、元気良くあいさつしました。



タック…「えつと……『サワツディークラブ』は、『こんにちは』って意味だね」

台詞… 日本から来たタヌキのタックが、タイのガイドブックを見ながら言いました。



ゾウママ…「あらタック、女性は『サワツディーカー』って言うみたいよ」

台詞… そう答えるのは、ケニアから来たゾウのゾウママです。同じ『こんにちは』でも、女性と男性でちよつと言い方が違うんですね。

■読みながら①ページをゆつくりとAまで引く



ワニール…「おーいつ、そろそろ行こーよお！」

台詞… ブラジルから来たワニのワニールと、インドネシアから来たカブトムシのシボランが、うずうずしながら言いました。動物たちは、これからピクニックに出かけるようです。

■一息間をおく

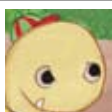


台詞… みんなで森の小道を楽しく歩いているときでした。シボラン…「あれ？ 誰か、たき火をしてるのかな？」

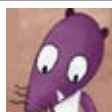
台詞… シボランが、もくもく立ちのぼる煙に気付きました。

■①ページの残りを全部引く

【上演するにあたって】
キャラクターの性格と口調



ブアカオ(男)
タイのニシキヘビの青年。心優しく正義感が強い。少し低めの声色で。



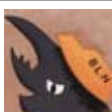
タック(男)
日本のタヌキの青年。まじめでなんでも一生懸命。少し高めの声で元気にテンポよく。



ゾウママ(女)
ケニアのゾウの中年女性。おおらかで陽気。ゆつくりと歌うような口調で。



ワニール(男)
ブラジルのワニの中年男性。正義感が強い熱血漢。しっかりした口調で。



シボラン(少年)
インドネシアのカブトムシの少年。ヤンチャで好奇心旺盛。活発で元気。

■タイ語で

「こんにちは」

男性 **สวัสดี ครับ**
サワッディー クラップ
(カッブ)
女性 **สวัสดี ค่ะ**
サワッディー カー
*「カー」は語尾を下げながら発音すると良い